



愛の手であなたをつつむ 被害者支援

会報 ふくしまの空

発行 公益社団法人ふくしま被害者支援センター
〒960-8041 福島市大町4-15
事務局 TEL&FAX 024-523-1550
ホームページアドレス <https://www.vsc-fukushima.net/>

警察と被害者支援の活動について

福島県警察本部長 森末 治



犯罪や交通事故による被害者やその御家族の方々に寄り添い、日々、各種支援活動に御尽力されている公益社団法人ふくしま被害者支援センターの職員及び会員の皆様には、平素より、警察の犯罪被害者支援業務及び警察行政各般に渡り御支援と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、県内の治安情勢につきましては、犯罪や事故のない安全で安心な社会の実現を目指し、様々な警察活動を展開しているところでありますが、残念ながら昨年の刑法犯認知件数は3年連続で増加したほか、交通事故につきましては、死者数は前年比減少したものの発生件数は増加しており、情勢は極めて厳しいものとなりました。

このような状況の中、犯罪や交通事故の被害者やその御家族は、直接的な被害にとどまらず、心身の不調、経済的困窮、風評など様々な困難に直面することとなります。

県警察においては、こうした現状を踏まえ、各種支援制度や相談窓口等を記載した「被害者の手引」の交付や、病院等への付添いのほか、各種公費負担制度の運用、臨床心理士によるカウンセリング等、様々な支援を行っております。

また、ふくしま被害者支援センター等と連携の上、被害者に優しいふくしまの風運動に取り組み、「命の大切さを学ぶ授業」や「ミニ講座」など、犯罪被害者の実情や被害者支援の重要性・必要性について、県民の理解を深めるための活動を推進しております。

国の動きとして、令和5年6月に内閣総理大臣を長とする「犯罪被害者等施策推進会議」において、「犯罪被害者等施策の一層の推進について」が決定されました。同決定の中の一つに「地方における途切れない支援の提供体制の強化」が掲げられ、一元的な途切れない支援が行えるよう、地方における関係機関・団体の連携協力の一層の充実が求められているところです。こういった動きを加速させるためには、社会全体が犯罪被害者支援に対する関心を高めることが重要と考えております。その観点では、昨年、命の大切さを学ぶ授業を受講した中学生の感想文が、警察庁主催「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクールにおいて警察庁犯罪被害者等施策推進課長賞を受賞するなど、被害者支援の重要性について、若い世代の理解が広がりつつあることを嬉しく思う次第であります。

県警察としては、今後も、犯罪被害者等の方々の思いに真に応えた支援ができるよう、ふくしま被害者支援センター、関係機関・団体等と連携した取組を実施してまいります。また、犯罪被害者等支援に対する理解と関心を深め、社会全体で被害者等の方々を支える気運醸成への施策を継続して推進してまいりますので、引き続き皆様の御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々の御健勝と、ふくしま被害者支援センターの更なる御発展を祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。

被害者に優しいふくしまの風運動 “支援の輪を広げるつどい2024”開催

11月16日(土)福島市パルセいいざかにおいて開催しました。

このつどいは、当センター・福島県・福島県警察本部の共催で行われ、今回で15回目を迎えました。

一人ひとりが身近な問題として犯罪被害について考え、地域社会全体で犯罪被害者やその家族の方々を支えていくことが大切です。

そのために、犯罪被害者の苦しみや悲しみ、地域における被害者支援の必要性や重要性を理解し、1日でも早く再び平穏な生活を取り戻していただけるようにすることを目的として開催しています。

基調講演では、毎日新聞記者の川名壮志氏に「犯罪被害者と社会のありかた」をテーマに講演していただきました。



基調講演の様子

川名氏は2004年6月1日に発生した「佐世保小6同級生殺害事件」に遭遇。被害者の父親が直属の上司であったことから、事件発生当初からご遺族を見守り、被害者の兄たちにも目を向け続けられました。

主な著書に「謝るなら、いつでもおいで」「僕とぼく」があります。

講演では、「被害者家族同士ではぶつけられない思いがあり、他人だから話せることもある」と講演されました。

支援コンサートでは、福島県警察音楽隊による演奏が行われ、会場を盛り上げました。



支援コンサートの様子

●命の大切さを学ぶ授業

当センターでは、被害者に優しいふくしまの風運動の事業の一環として県警察と共催し、県内の中学・高校生を対象に「命の大切さを学ぶ授業」を実施しています。

この事業は、犯罪・交通事故の被害者遺族の方に講演していただき、生徒達が改めて命の大切さを学び、犯罪や事故を起こしてはならないという意識の向上を図る機会になっています。

今年度は、県内の中学校14校・高校6校で実施しました。



学校法人松韻学園福島高等学校での講演の様子

－ センターニュース －

●「犯罪被害者週間」街頭広報実施

11月25日から12月1日までの犯罪被害者週間に合わせて、センターリーフレットや啓発グッズを配布し募金活動を行いました。

また、各種行事にパネルの展示を行い被害者支援への理解を深めました。



郡山免許センター



福島駅前



福島市まちなか交流施設ふくふる(福島市の共催)



トヨタクラウンアリーナ



福島市パルセいいざか



福島市パルセいいざか

●ホンデリングによる寄付

令和5年12月～令和6年11月までの集計

11団体2個人の皆さまに1,081冊を寄付して頂き、寄付額41,210円を賜ることができました。

たくさんのご協力誠にありがとうございました。

【ご協力頂いた主な団体】(敬称略・順不同)

県男女共生課・警察本部県民サービス課・郡山警察署・会津若松警察署・会津若松警察署美里分庁舎・双葉警察署・福島北警察署桑折分庁舎・田村警察署・いわき南警察署

－ センターニュース －

●各種研修会を開催

インテーク会議では、県警・大学院教授・弁護士・公認心理師・臨床心理士を講師に招き、ひとつひとつの相談や支援への対応方法についてアドバイスを頂きながら、支援が適切にできるよう学びました。



日時	研修テーマ	講師	内容
4月19日	第1回インテーク会議	県警・大学院教授・弁護士 公認心理師・臨床心理士	事例検討
5月10日	第1回継続研修会	NNVS認定コーディネーター	犯罪被害者等への対応
6月12日	第2回インテーク会議	県警・大学院教授・弁護士 公認心理師・臨床心理士	事例検討
6月21日	第2回継続研修会	福島大学特任教授	発達障がいの方への関わり方と留意点について
7月17日	第3回継続研修会	福島刑務所統括矯正処遇官	刑の執行段階における被害者等の心情等の聴取・伝達制度について
8月6日	第3回インテーク会議	県警・大学院教授・弁護士 公認心理師・臨床心理士	事例検討
9月19日	第4回インテーク会議	県警・大学院教授・弁護士 公認心理師・臨床心理士	事例検討
10月10日	第4回継続研修会	精神保健福祉士/社会福祉士	子どもへの性加害と性的グルーミングについて
11月7日	第5回インテーク会議	県警・大学院教授・弁護士 公認心理師・臨床心理士	事例検討
11月27日	第5回継続研修会	福島県立医大准教授	遺族支援の留意点とグリーフケアについて
12月19日	第6回インテーク会議	県警・大学院教授・弁護士 公認心理師・臨床心理士	事例検討

●全国被害者支援フォーラム2024及び秋期全国研修会

令和6年10月18日東京で開催された全国被害者支援フォーラム2024に参加しました。

男児・男性の性暴力被害をメインテーマに上智大准教授齋藤祥氏の「男性・男児が性暴力にあった場合の相談を妨げる心理社会的課題を考える」をテーマにした講演や、(一社)Springの被害当事者の方の「性暴力被害の現状と回復への道のり」をテーマにした講演、「被害直後に声をあげやすくするために必要なこと」をテーマにしたパネルディスカッションが開催されました。

10月19日～20日の秋期全国研修会では、「被害者電話相談の基本」や「思春期の子どもたちはどのように生きているのか～保健室での子どもたちとのかかわりから～」について研修を受けました。

【研修感想】

- ・性被害者は、女性、男性、LGBTQ問わず皆が皆、トラウマを抱え苦しくつらい思いで生きているのだと再認識した。
- ・当事者の男性が顔を見せずに講演をされた背景に、被害を受けた男性が声を上げることの難しさを感じた。
- ・ジェニーズ問題が契機となり、社会に男性性被害の問題をさらしめることができた今、性被害を受けた者の心の傷を多くの人々に知ってもらおう事を願い、これからは被害者が躊躇することなく声を上げやすい社会になればいいと思った。

－ センターニュース －

●令和6年度北海道・東北ブロック質の向上下半期研修会参加

令和6年11月19日～20日に北海道札幌市で開催された質の向上下半期研修会に当センターから支援員3名が参加しました。

「人材育成」「事例検討会の進め方」「相談技術」「支援に関する法律・制度」「関係機関との連携のあり方」「直接的支援の展開」など学びました。

【研修感想】

- ・今まで研修に参加した内容とは全く別の視点からの講義で、考えさせられる部分が多かった。
- ・他県の支援員の方々の体験談やケース報告を聞いて、参考になる部分があり今後の活動に活かされると思った。
- ・チームで連携し、お互いが安心・安全で話せる雰囲気作りが大切だと学んだ。
- ・ロールプレイの中で気づきがあり、これまでの経験ではわからなかったことや不安に感じていたことがわかり、自分なりに納得することができた。

被害者支援活動の実施状況 2024年1月～12月

1 総支援件数

724件 ■電話相談 653件 ■直接的支援活動 44件 ■面接 27件

2 相談内容

■電話相談

被害内容	件数	被害内容	件数
殺人	59	交通事故	48
不同意性交(強制性交等)	180	DV・ストーカー	1
その他の性暴力	190	虐待	3
暴行・傷害	4	その他	34
その他の身体犯	134	計	653

■直接的支援活動

支援内容	件数	支援内容	件数
警察付添	5	病院付添	16
裁判付添	3	自宅訪問	3
法律相談付添	4	その他	13
		計	44

■面接

支援内容	件数	支援内容	件数
不同意性交(強制性交等)	12	交通事故	2
その他の性暴力	6	その他	0
その他の身体犯	7	計	27

上記の内「SACRAふくしま」の実施状況

1 総支援件数

526件 ■電話相談 478件 ■直接的支援活動 26件 ■面接 22件

ホンデリング ～本で広がる支援の輪～

本のご寄付で被害にあわれた方々への支援のご協力をお願いいたします。

このような本が、支援につながります



お申し込み方法

不要になった本を箱に詰める。

5冊以上



ふくしま被害者支援センターに電話する。

(024-523-1550)



宅配業者がご指定の時間に引き取りに伺います。(1回の集荷は3箱以内)



査定され、買取相当額が当センターに寄付されます。
※発送費用は不要です。



【仕分けのツール】



提携先の(株)バリューブックスのサイトでは、スマートフォンから写真を撮ると、大まかな寄付金額が分かるサービス「本棚スキャン」があります。仕分けの際にぜひご活用ください。「本棚スキャン」へは、左記QRコードからアクセスしてください。

【寄付につながらない商品】

以下の商品はお取り扱いができませんので、送らないでください。

「ISBN」のない本／百科事典／コンビニコミック／個人出版の本／マンガ雑誌／一般雑誌／同一タイトル本11点以上／シングルCD／投票券等特典付きCD／起動しないゲーム機・ソフト／ケース及びディスクが欠品しているゲーム・DVD／規格品番がないもの／違法なもの／海賊版・コピー・サンプル／「児童買春・児童ポルノ禁止法」(関連法令含む)に抵触する恐れのある全ての商品／「警察官実務六法等の警察法令関係」の書類は、飽和状態のためご遠慮ください。

2014年以前に出版された本の多くは、価格がつけられないためご遠慮ください。

【募金箱設置のご案内】

施設関係や企業及び団体に設置のご協力をお願いしています。

ご連絡いただければ、募金箱をお届けします。



賛助会員募集中

当センターは、活動経費の多くが皆様の会費、ご寄付により運営されています。

年会費 ○ 個人…1口 2,000円より ○ 法人・団体…1口 10,000円より

福島県公安委員会指定「犯罪被害者等早期援助団体」
公益社団法人ふくしま被害者支援センター

<https://www.vsc-fukushima.net/>

〒960-8041 福島市大町4-15 チェンバおおまち4F TEL/FAX 024-523-1550

*当センターは公益法人です。会費を納めたり、寄付をした場合は税法上の優遇措置があります。
*寄付は金額を問いません。